

JAPAN COAST GUARD FRIENDSHIP CIRCLE

海上保安友の会香川支部だより

ゆうなぎ 第24号

第24号の掲載内容

- I 巡視船『くまの』東日本震災派遣
- II 『小豆島海上保安署』新装なる！
- III 海保からのお知らせ
 - 1 海難発生状況

I 巡視船『くまの』東日本大震災派遣活動報告

【 第1回 3月11日～3月25日 】 宮城沖



【 第2回（4月1日～4月14日） 】 仙台湾～牡鹿半島～石巻港

搜索海域



壊滅状態の港内

到るところに転覆船
が！



ガレキの中を搜索

潜水士はどこだ？



海中の搜索は過酷！ 海面上見たままの瓦礫が海底まで！

釘だらけ、水中視界は1～2メートル、全体が見えない！見渡せない

潜水中の余震（震度5や6の強震）に緊急浮上

【 第3回（5月2日～5月14日） 】 仙台湾～牡鹿半島～石巻

情報収集の状況

長清水地区の避難所のテントには中国国旗も掲げられていた。



滝浜地区で自宅の瓦礫を処理していた住民から情報収集
海辺と高台で大違い！



海上自衛隊とも連携



見落としがないか細部まで



行方不明者の潜水捜索



Ⅱ 『小豆島海上保安署』新装なる !



坂手港

香川県小豆郡小豆島町坂手港のほぼ中央に位置する鉄筋2階建庁舎です。施設も大幅改善されました。庁舎南側には巡視艇きよづきの基地棧橋があります。



正面玄関



海側



玄関ホール

ゆったりホールです

事務室は、右側会談から2Fへ



Ⅲ 海保からのお知らせ

1 平成 22 年海難事故発生状況

海難船舶 68 隻 (過去10年で最少・前年比5%減)
事故者数 57 人 (過去 5年で最少・前年比2%減)

< 船舶海難 >

- 船舶種類別では プレジャーボートによる海難が全体の約 4 割 (28 隻)
- 海難種類別では 衝突 31 隻 機関故障 11 隻で 全体の約 6 割
- 衝突 31 隻の内 21 隻は 操船者の見張り不十分
- 海難による死亡者数は 0 人

< 人身事故 >

- マリンレジャーに伴う海浜事故者は 12 人、 21 年と比べ 6 人減少!
- マリンレジャーでの死亡者は 3 名
(遊泳中の溺死事故 2 名、貝取り中の溺死事故 1 名)

船舶種類別の海難発生状況 (平成 19 年~22 年) (単位: 隻)

	19年	20年	21年	22年
貨物船	16	21	16	10
タンカー	7	6	6	8
旅客船	1	0	1	1
プレジャーボート	32	36	27	28
漁船	21	31	17	13
遊漁船	1	1	1	3
その他	3	6	4	5
合 計	81	101	72	68

人身事故発生状況 (平成 19 年~22 年) (単位: 人)

	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	事故者	死亡者	事故者	死亡者	事故者	死亡者	事故者	死亡者
マリンレジャーに伴う海浜事故者	15	4	17	5	18	3	12	3
マリンレジャー以外の海浜事故者	27	23	21	15	16	9	22	19
船舶海難によらない乗船者の人身事故	17	0	28	12	24	8	23	6
合 計	59	27	66	32	58	20	57	28



(某日深夜
容態変化した妊婦さんの輸送)

洋上における

フェリー乗客の急患輸送

(H23.5.12 深夜 転倒負傷者
後部ランプゲートから収容し救急車へ)



海の「もしも」は 118番

海の事件・事故
緊急通報用

うみまる

PS

第六管区海上保安本部 高松・坂出・小豆島海保

愛します! 守ります! 日本の海

ゆうなぎ 第 24 号

発行 海上保安友の会香川支部

平成 23 年 6 月 1 日

